

# 【成長戦略課題候補】

## モモの新たな窒素施肥基準および施肥技術の開発 (R8~12)

山梨県果樹試験場

### 背景

- ・ 現在、モモ園の窒素施肥量の基準値は、面積あたりに定めたものであり、実際の土壌中の窒素量に応じた施肥量の調節ができていない
- ・ R5~7年成長戦略課題において、  
ブドウ：可給態窒素量を考慮した新たな窒素施肥基準を作成  
モモ：現地調査から、ほ場間の可給態窒素量の差が大きい

#### 【みどりの食料システム戦略】

- ・ 土壌養分に応じた施肥や有機物資材の適正な施用による土づくりが推進
- ・ 作業の省力化への取り組みが必要
- ・ 気候変動に適応する生産安定技術の普及

### 目的

【モモの高品質・安定生産に向けて】

- ・ 簡易診断法を用いた可給態窒素を指標とする窒素施肥基準を作成する
- ・ 地力の維持向上に向けた省力的かつ効果的な有機物資材や施用方法を明らかにする



地力窒素の簡易診断  
(可給態窒素)



診断に基づく施肥



高品質・安定生産

### 研究内容

1年目

2年目

3年目

4年目

5年目

#### 1. 可給態窒素を指標とした窒素施肥基準の作成

＜窒素吸収特性の解明＞

- ・ 生育時期別の窒素吸収量
- ・ 施肥した窒素の利用率

＜可給態窒素を指標とした窒素施肥基準の作成＞

- ・ 可給態窒素量に応じた施肥量を検討  
(現地および場内ほ場において実施)

#### 2. 省力・効果的な有機物資材および施用方法の検討

＜新たな有機物資材の可給態窒素向上効果の検討＞

供試資材：牛ふん堆肥（ペレット）、混合堆肥複合肥料など

＜効果的な施用方法の検討＞

施用方法（いずれも主幹周囲に局所施肥）：地表面、地表面+混和、深耕

### 期待される効果

- ・ 新たな施肥基準によりモモ園の土壌中の窒素量に応じた施肥が可能となる。
- ・ 省力で効果的な有機物施用が可能となり、利用促進につながる。
- ・ 有機物施用により気候変動に対応できる健全な樹体づくりができ、モモの高品質・安定生産につながる。  
(県内モモ生産量13,884t ベジフルデータ2024)

必要分だけ肥料を  
くればいづら！

この資材が良いじゃ  
んね！

